

(前頁より)

一般演題は58題(口演33題、ポスター25題)の発表がありました。また、5施設からの指定演者(医師、看護師、技師)によるパネルディスカッション「患者と医療者、よりよいパートナーシップの構築へー相互理解と協力の医療ー」を企画いたしました。ランチョンセミナーとして、全国社会保険協会連合会の渡邊両治氏から「医療有害事象・対応指針について」実例に基づいた講演をいただきました。また、全参加者に、全社連作成の小冊子「医療有害事象・対応指針」を配布いたしました。今回は特別講演に代わって、誠に僭越ながら世話人講演とさせていただきます、「信頼の医療」について日ごろ思うところを述べさせていただきます。

第10回福井県支部学術集会

学術集會会長：福井総合病院職員教育部副部長 吉江由加里

2011年2月19日(土)、福井医療短期大学において第10回福井県支部学術集会を開催しました。「クリティカルパスによる医療の質の向上」をテーマに、一般演題10題、シンポジウムおよび特別講演を行い、120名の参加を頂きました。

一般演題は、医療安全、NST、人材育成、病床管理など幅広い分野からの発表があり、職種の枠を越えて活発な意見交換が行われました。

シンポジウムでは、「自院におけるクリティカルパス活動とその成果」と題して、各施設のクリティカルパス委員会の活動内容や電子カルテクリティカルパスへの移行に伴う問題点と対策、地域連携クリティカルパスの運用について発表いただきました。

また、特別講演には、医療法人近森会近森病院の久保田聡美看護部長をお招きし「医療の質向上を目指した組織創り～クリティカルパス委員会から縦横無尽(夢人)に～」という演題でご講演いただきました。講演では、クリティカルパスをチーム医療推進のツールとしたマネジメントの実際についてお話いただき、今後の実践にむけて多くの示唆を得ることができました。

最後に、本会の開催にあたり、関係各位の皆様には多大なるご支援ご助力に感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第8回岡山県支部学術集会

学術集會会長：川崎医科大学附属病院病院長 角田 司

2011年2月19日(土)、川崎医療福祉大学講義棟2601大講義室において、第8回岡山県支部学術集会を開催し、313名の参加がありました。

今回の学術集会のテーマとして「チーム医療でめざす安全・安心な医療」を掲げ、同名のシンポジウムを組み、病院ならびに職種の違う4名の方からの発表、討論をいた

きました。特別講演は、国立病院機構四国がんセンター外来部長の河村進先生に「クリティカルパスがもたらした四国がんセンターの意識変革とチーム医療の推進について」



会場風景

と、ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表の木村正明先生にご講演いただきました。ランチョンセミナーでは、「尿路留置カテーテルと感染ー最近の考え方を中心にー」と題し神戸大学大学院医学研究科特命教授・医学部附属病院感染制御部長の荒川創一先生と、「報道事例から学ぶ2011：安心で安全な薬物治療に必要な新たな視点」と題し山口大学大学院医学研究科教授・医学部附属病院薬剤部長の古川裕之先生にご講演いただきました。さらに、一般演題19題、ポスター発表9題、クリティカルパス展示9題についても活発な討議や意見交換が行われました。

最後になりましたが、本会開催にあたりご協力いただいた方々に感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第11回大分支部学術集会

当番世話人：国家公務員共済組合連合会新別府病院副院長 泊 一秀



会場風景

去る2011年2月19日(土)に「地域医療ネットワークの新たな展開に向けて」をテーマに別府市内で開催致しました。

午前中の一般演題発表では、「医療安全」や「業務改善」、「医療連携」など多岐に渡る発表が計15題行われ、活発な議論がなされました。

昼食時の教育セミナーでは「医療安全と5S」とのテーマでテルモ株式会社安全情報管理部の生野利子先生よりご講演頂き、医療安全における「5S」の基本を再確認することができました。

午後からは特別講演として国立病院機構熊本医療センター統括診療部長の野村一俊先生より「地域医療ネットワークの新たな展開に向けてー地域連携クリティカルパスから見えてきたものー」とのテーマでご講演頂きました。地域連携クリティカルパスを中心に、現在の連携体制の現状と課題、またこれからの地域医療における「地域医療ネットワークのあるべき姿」についてご示唆頂きました。

シンポジウムでは、地域医療連携についてそれぞれのお立場からご発言頂き、これから目指すべき「地域医療ネットワーク構築」についての議論がなされました。